



たんぽぽ通信

武蔵村山病院 病児病後見保育室「たんぽぽ」



2020年3月

たんぽぽ通信って？

「たんぽぽ通信」は、病児・病後見保育室「たんぽぽ」から、市内の教育・保育施設へ向けて情報を発信していくお便りです。みなさまのお役に立つ情報を提供していきます。



例年より早かったインフルエンザの流行

通常11月頃から流行するインフルエンザですが、今年は例年より2ヵ月ほど早く、9月からの流行となりました。年が明けて現在に至るまで流行は続いています。今後も油断せず、予防を徹底しましょう。

感染症対策を万全に！

昨今報道されている新型コロナウイルスをはじめ、様々な感染症に備えて「手洗い・うがい」を習慣づけていきましょう。

2019年度利用者の病名

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
病名	急性上気道炎											
	感染性胃腸炎											
	気管支炎											
	喘息様気管支炎											
	手足口病											
	インフルエンザA											

《まとめ》

急性上気道炎の発熱による利用が年間を通して多数ありました。季節ごとに見ていくと春から夏にかけては感染性胃腸炎、気管支炎、手足口病、秋から冬にかけては気管支炎、インフルエンザといった流行傾向が見受けられました。利用人数では、7月～8月が最も多く、主な要因としては夏の暑さ対策で、冷房使用により体調を崩してしまうケースが多かったように思われます。その他、骨折などで集団保育が難しい場合に利用されるケースがありました。

今保育室で人気のおもちゃ♪

トミカの“アクション高速道路”でミニカーを走らせて遊ぶことが人気です。パトカーや消防車の音を声に出して楽しんでいます。



たんぽぽスタッフより

たんぽぽ保育室では、お預かりしたお子さんが少しでも早く回復できるよう、医師・看護師をはじめ、スタッフ一同、連携して保育にあたっています。お預かりした時には、不安で泣いていたお子さんが、帰りには「ありがとう」と言ってくれたり、笑顔でハイタッチするお子さんもいて、とてもうれしく思います。また、「子どもが病気になってしまって、預ける先もなく、たんぽぽ保育室があって本当に助かっています。」という保護者の方からの言葉を聞いて、少しでもお役に立てて本当によかったと感じます。

2019年度からは、事前登録制度の廃止により、急な発熱や病気などでも預けやすくなりました。これからもお子さま、保護者の方が安心して利用できる保育室を目指していきます。

【ご利用方法】 武蔵村山病院 または 武蔵村山市役所ホームページをご覧ください。

【お問い合わせ】 武蔵村山病院3C小児科病棟 042-566-3367（日曜日～土曜日 8：00～18：00）

